

SAPIX		4年						
		算数						
学習内容		1回 大きな数 2回 角と角度 (1) 3回 植木算						
家庭学習 ポイント	2月の学習内容は1回「1回 大きな数」2回「角と角度 (1)」3回「植木算」となります。4年になると各単元名が今後5・6年で使うものと同じになり、その基礎を学びます。大きな数、角と角度、植木算、場合の数を学びます。Aテキストでは初回ではわり算を、その後の計算力講座では整数のわり算、かけ算を学びます。4年生ではテキストがAとBに分かれ、Aは前週の復習です。また、5回に1回は「総合回」として、それまで4回の復習を行います。随時復習が入りますから繰り返し学習にとてもよいシステムになっているので、入塾したばかりのお子さんは2月で学習のリズムをうまくつかんでおきたいですね。「学習サイクル作り」が最優先です。どの曜日にどれくらい学習すると良いのかを、週ごとに振り返りながら1週間の学習カレンダーを作り上げましょう。また、間違えた問題の直しは出来るようになるまでしっかり行って下さい。計算方法など覚えることが多いのですが、「手を動かすこと」も求められます。計算では「筆算や途中式をきちんと書くこと」、角度問題では「分かる角度は全部図の中に書くこと」、植木算では、「短い区間で木を植えた絵を書いてイメージしやすくすること」などです。頭の中だけで考えて、いきなり答えを書く勉強スタイルに陥らないようにしましょう。							
課題の把握 と解決 策	チェック1	A授業とB授業のある学習サイクルを構築できていますか？		チェック				
	解決策	2月中にうまく回るサイクルを作り上げたいですね		<input type="checkbox"/>				
	チェック2	数字づくりの問題を正しく書き出して正解できていますか？		チェック				
	解決策	もれなく書き出せるのは算数の基本的な力の1つです		<input type="checkbox"/>				
	チェック3	対頂角・錯角・同位角が正しく答えられますか？		チェック				
	解決策	平行線を用いて自分で書いてみるといいですね		<input type="checkbox"/>				
	チェック4	三角形の外角について理解できていますか？		チェック				
	解決策	使いこなせるようにしておくと、問題を解くのが早くなりますね		<input type="checkbox"/>				
	チェック5	植木算の「+1」「-1」を正しく理解していますか？		チェック				
	解決策	機械的に「+1」「-1」をしないよう注意が必要です		<input type="checkbox"/>				
SAPIX		4年						
		国語						
学習内容		1回 知の冒険／漢字なんていらない？ 物語文 2回 コトノハ／あいつなんてきらいだ 物語文 3回 コトノハ／今日は楽しいひなまつり 説明文						
家庭学習 ポイント	物語文の読解が重視され、Bテキストでも物語文：説明文が2：1となっています。Aテキストでは物語文のあらすじ、場面の変化、人物像の把握や、説明文のテーマ、段落毎の内容把握を扱い、知識分野は漢字の成り立ち、かな遣い、同訓異字など漢字の基礎を扱います。Bテキストの復習をお子さんが独力でこなすのは、原則として難しいでしょう。苦手意識を誘発しないよう、見守る大人がBテキストのボリュームや難しさを理解しておくことが重要です。漢字の学習は基本的に家庭で行うよう指示されます。日常的に積み重ね、マンスリーや組分けの得点につなげながら、学年が上がった際の語彙不足を未然に防ぎましょう。4年生の物語文の読解では、非現実的な出来事を想像する力と、そうした状況下での心情変化などを答える力が求められます。まずは映画を見ているように、物語の様子を映像として思い浮かべながら読む習慣をつけましょう。心情の変化や場面の移り変わりに関する問題を解く鍵となります。Bテキストの素材文を音読するのも有効です。基礎となるAテキストでは丁寧な理解を目標に、解説を併用して親御さんが点検を進めるよいでしょう。							
課題の把握 と解決 策		物語文では、登場人物の行動のもととなっている気持ちに注目していますか？		チェック				
	解決策	テキストの「読解メソッド」は親主導でしっかり活用しましょう		<input type="checkbox"/>				
	チェック2	物語文の読解では、シーンを映画のように思い浮かべていますか？		チェック				
	解決策	「映像化」という物語文では定番の読解法です		<input type="checkbox"/>				
	チェック3	「読み解かないから国語は苦手」と決めつけていませんか？		チェック				
	解決策	国語のテキストで素材文を読むだけで、かなりの読書量になります		<input type="checkbox"/>				
	チェック4	語句の学習では、そのものを覚えるだけでなく「シチュエーション」を意識して覚えていますか？		チェック				
	解決策	言葉がどのような場面でどのようなニュアンスで使われるかを意識しましょう		<input type="checkbox"/>				
	チェック5	国語の週間学習サイクルができましたか？		チェック				
	解決策	「授業から帰ったら短時間復習」「宿題演習は授業と別の日」を基本に組んでみましょう		<input type="checkbox"/>				

SAPIX					4年		
					理科		
学習内容					1回 ふれずにはたらく力 2回 スイッチを入れると？！ 3回スイッチのある磁石！？		
家庭学習 ポイント					2月の新学年から順番に「ふれずにはたらく力」「スイッチを入れると？」、「スイッチのある磁石！？」を学んでいきます。電気と磁石、物理の学習で始まる4年生になります。4年生前期の段階では暗記で対応可能な内容が多く、覚えておけばテストの点になりますが、単に暗記だけの学習になると、理科の勉強が苦痛になってしまいます。体験や納得を伴わない記憶の場合、覚えてもすぐに忘れてしまう事に注意が必要です。理科に対する興味を持たせられないと、今後も含めてつまずく可能性は大きくなります。早い時期に理科の学習のしかたを身につけることが重要です。テキストを何度も繰り返すのではなく、宿題は1回演習+間違った問題のなおしと覚え直しにとどめましょう。残りの時間は内容で不思議に思ったことを調べたり、過去の内容の復習にあてるようにすると、マンスリーテストだけでなく組分けなどでも点が取れるようになります。暗記する場合も「まる覚え」ではなく「○○だから○○」と因果関係で覚えるようにしましょう。4年生の内容は暗記の羅列的なものでなく、ストーリー性を持ったものなので、ぜひディリーを上手に活用して、理科好きなお子さんに導いてあげてください。		
課題の把握と解決策	チェック1				豆電球の仕組みを理解していますか？		チェック
	解決策				フィラメントは電気抵抗が大きく、電流が流れにくいために発光、発熱すると理解しておきましょう		<input type="checkbox"/>
	チェック2				表紙と「表紙の復習」を活用していますか？		チェック
	解決策				特に「季節の図鑑」には毎回目を通すようにしましょう		<input type="checkbox"/>
	チェック3				棒磁石を折ったときにできる磁極を理解していますか？		チェック
	解決策				残った極の逆側が、残った極の逆の極になりますね		<input type="checkbox"/>
	チェック4				宿題の解き直しを何度もしていませんか？		チェック
	解決策				「間違ったところのみもう1回」くらいにして、調べ学習などに時間を使いましょう		<input type="checkbox"/>
	チェック5				「丸覚え」の学習ではなく因果関係をもとに考えていますか？		チェック
	解決策				つねに「○○だから□□」と考える習慣をつけることを意識しましょう		<input type="checkbox"/>
SAPIX					4年		
					社会		
学習内容					1回 紙をめぐる探検 2回 日本の家に木造が多いわけ 3回 この服は植物？動物？石油？		
家庭学習 ポイント					2月は1回「紙」2回「日本の家」3回「服」を題材に、使われている原料から製品が出来るまでの流れについて学習します。日本は森林の豊かな国そのため、様々な木の名前が出てきます。各々の木の特徴とそれが何に活用されているのか、まずはしっかりと知しておくことが大切です。まず、「針葉樹林か広葉樹林か」と大きな視点で学習するようにして下さい。その上で、常に地図を見ながら場所を確認するようにしましょう。紙についても同様に、和紙、洋紙がそれぞれ何から、どのような工程でできているのかを順を追って理解し、再生紙も含めどのようなものに利用されているかを知っておくことが大切です。今後の社会の学習全般にいえることですが「社会=暗記」という側面はあるものの「社会=丸覚え」にならないよう、その仕組みや流れ、因果関係を理解しておくことが長期的な理解と記憶の両方に役立ちます。その意味でも毎回のテキストの表紙と表紙裏はしっかり読み、学習内容を「自分ごと」と捉えられる状態で進めていくことが大切です。		
課題の把握と解決策	チェック1				紙には和紙と洋紙があること、その違いを知っていましたか？		チェック
	解決策				身の回りにあるものの詳細について考えてみることは、社会だけでなく理科の学習にもつながります		<input type="checkbox"/>
	チェック2				問題を解いて答え合わせ、で終わっていませんか？		チェック
	解決策				間違ったところは常に「テーマ」に戻って確認する習慣をつけましょう		<input type="checkbox"/>
	チェック3				テキストの表紙、表紙裏を活用していますか？		チェック
	解決策				できれば親子でじっくり読み、時には一緒に調べてみましょう		<input type="checkbox"/>
	チェック4				「解答と解説」の「生徒のみなさんへ」を読んでいますか？		チェック
	解決策				社会の学習方法に関するヒントがたくさん散りばめられています。ぜひ活用してください		<input type="checkbox"/>
	チェック5				「もっと知りたい」をしっかり読んでいますか？		チェック
	解決策				知識が「一問一答」ではなく「なぜそうなのか」という立体的なものになります		<input type="checkbox"/>